様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	環境衛生推進事業	コード	82204

2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境部	作成者	吉沢　透

3 事業概要				
目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
	政　策	循環型社会の構築	施　策	環境衛生対策の推進
	予算科目	環境衛生推進費	業務委託	一部委託
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
	根拠法令	狂犬病予防法、水道方		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		犬の登録事務、狂犬病予防注射事務、動物死骸処理、墓地等、昆虫等駆除、専用水道・簡易専用水道・浄化槽届出処理等
目的	対象者	市民、利用者
	意　図	公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

・犬の登録、狂犬病予防注射に関する事務を行った。
　新規登録数：１０３頭
　予防注射実施頭数：１，６６１頭
　集合注射　実施場所：市内公会所等　延べ３１会場
　　実施日　：４月２０日・２１日、５月２４日・２５日・２９日の５日間
・犬、猫等の正しい飼い方普及のため、広報おかや等による周知・啓発を図った。
・犬猫等動物の死体の収容：１３６件
・丸戸共同墓地の維持管理
　草刈り等清掃業務（シルバー人材センターへ委託）
・専用水道、簡易専用水道及び浄化槽に関する届出等の事務処理を行った。

前年度の課題への対応	市ホームページ・広報おかやを利用し、犬の登録や狂犬病予防注射の啓発を行った。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	狂犬病予防注射実施日数			単位 日
実績値	5	5	5	
＊指標の説明	狂犬病予防注射実施日数			
② 成果指標（指標名）	狂犬病予防注射済頭数割合			単位
目標値	95	95	95	90
実績値	90	89	87	
達成度	94.7%	93.7%	91.6%	
＊指標の説明	注射済頭数÷台帳登録頭数			
＊目標値の設定方法の説明	直近の最大値			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	3,082,978	2,886,885	1,974,248	2,131,000
経常経費	3,082,978	2,886,885	1,974,248	2,131,000
臨時的経費	0	0	0	0
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		7,520,000	7,520,000	7,520,000	7,520,000
正規職員の人数（人）		0.94	0.94	0.94	0.94
③ 合計コスト（①＋②）		10,602,978	10,406,885	9,494,248	9,651,000
前年度比			98.2%	91.2%	101.7%
財源内訳	一般財源	8,733,708	8,734,935	8,045,698	9,177,000
	特定財源	1,869,270	1,671,950	1,448,550	474,000
＊特定財源の説明		犬の登録等手数料、県委託金			
④ 活動一単位あたりコスト		2,120,596	2,081,377	1,898,850	
前年度比			98.2%	91.2%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
公衆浴場経営活性化事業補助金	件数	1	1	0	0
	金額	700,000	350,000	0	0
公衆浴場経営安定化助成事業補助金	件数	1	1	0	0
	金額	238,000	68,000	0	0
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	938,000	418,000	0	0
	割合	30.43%	14.48%	0.00%	0.00%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目			はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。			1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。			1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。			1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値　前年度比	97.8%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値　達成度	91.6%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 犬の登録頭数に比べ、狂犬病予防注射済票交付件数が少ない。（注射猶予分は除く）
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 市ホームページや広報おかや等を利用し、犬の登録関係や予防注射実施の周知啓発を図る。
改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B